

令和 **5** 年度

取り組む事業の
あらまし



津別町のしごと



津別町

発刊にあたって

本町の令和5年度予算は、全6会計あわせて92億4,080万円です。前年度と比べ、大通地区コミュニティ施設や木質バイオマスセンターの整備が完了したことから、3.0%の減となりました。

令和5年度につきましては、住民生活に密着する医療、福祉施策の充実、将来にわたり持続可能なまちづくりに向けた計画的な施策とともに、緊急性と住民要望の高い事業を選択して予算編成を行いました。令和5年度予算を構成する主な事業を紹介したものが、この「津別町のしごと」です。

令和5年度予算は、4年目となる「津別町第6次総合計画」や「津別町創生総合戦略」、福祉、障がい者等の各種計画を基本に編成したものであり、10年後に目指す津別町の将来像「暮らしたい、魅力あふれるエコタウン」に到達できるように着実に取り組みを推進して参る所存であります。

いまだ新型コロナウイルスの収束を迎えないこと、世界情勢が不安定な状況であること、デジタル化社会をさらに加速させる必要があることなど、初めて迎えることが多い中、新型コロナウイルスとの共存という時代とともに、社会構造の変化に乗り遅れることなく、本年度も職員と一丸となり、町づくりに取り組んで参ります。

令和5年度に津別町が取り組む事業をご理解いただきたく一助として、本書をご活用いただければ幸いに存じます。

令和5年4月 津別町長 佐藤 多一

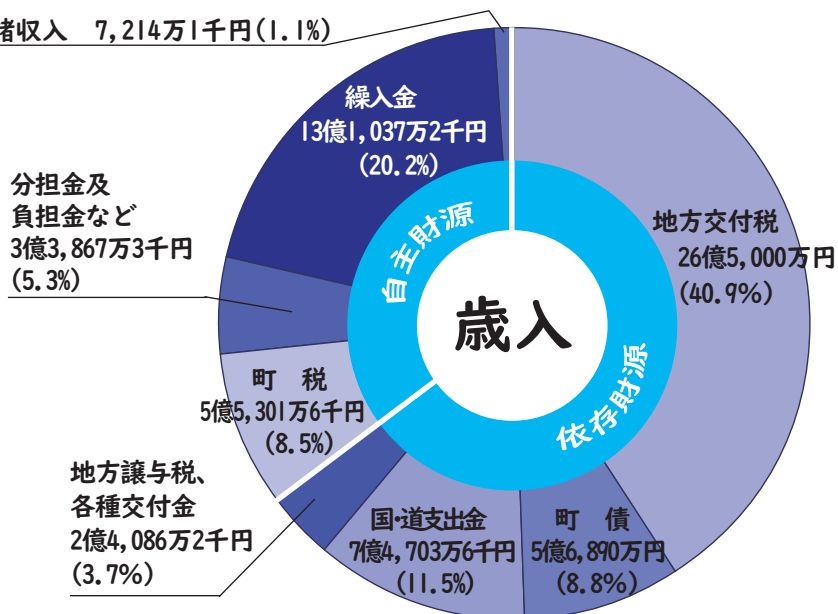
もくじ

1	令和5年度津別町一般会計予算	1
2	令和5年度の主な事業	5
	住民企画課	5
	保健福祉課	7
	産業振興課	11
	建設課	15
	生涯学習課	21
3	令和4年度出前講座一覧	25
4	資料	26
	各会計別の当初予算総括表	26
	各種団体等に対する補助金・交付金	27
	各種施設等の維持管理経費	30
	町の貯金と借金	33
	オホーツク管内市町村との比較	35

令和5年度 津別町一般会計予算

総額64億8,100万円（前年比8.9%減）

諸収入 7,214万1千円(1.1%)



今年度の一般会計予算は64億8,100万円で、前年と比べて、6億3,700万円、8.9%の減となりました。主な要因は、木質バイオマスセンター整備事業およびまちなか再生事業における大通地区コミュニティ施設整備事業終了の減によるものです。

歳入

自主財源

科目	令和5年度予算額	令和4年度予算額	増減額	増減率	歳入に占める割合
町税	5億5,301万6千円	5億3,253万0千円	2,048万6千円	3.8%	8.5%
分担金及負担金	5,779万9千円	4,522万9千円	1,257万0千円	27.8%	0.9%
使用料及手数料	1億2,160万9千円	1億2,685万6千円	△524万7千円	△4.1%	1.9%
財産収入	5,426万3千円	5,085万3千円	341万0千円	6.7%	0.9%
寄附金	1億500万1千円	1億500万1千円	0千円	0.0%	1.6%
繰入金	13億1,037万2千円	8億9,425万3千円	4億1,611万9千円	46.5%	20.2%
繰越金	1千円	1千円	0千円	0.0%	0.0%
諸収入	7,214万1千円	5,221万9千円	1,992万2千円	38.2%	1.1%
小計	22億7,420万2千円	18億694万2千円	4億6,726万0千円	25.9%	35.1%

依存財源

科目	令和5年度予算額	令和4年度予算額	増減額	増減率	歳入に占める割合
地方譲与税	1億573万0千円	1億1,054万8千円	△481万8千円	△4.4%	1.6%
利子割交付金	20万0千円	30万0千円	△10万0千円	△33.3%	0.0%
配当割交付金	130万0千円	100万0千円	30万0千円	30.0%	0.0%
株式等譲渡所得割交付金	70万0千円	10万0千円	60万0千円	600.0%	0.0%
法人事業税交付金	1,000万0千円	920万0千円	80万0千円	8.7%	0.2%
地方消費税交付金	1億1,500万0千円	1億2,390万0千円	△890万0千円	△7.2%	1.8%
自動車税環境性能割交付金	600万0千円	600万0千円	0千円	0.0%	0.1%
地方特例交付金	130万0千円	80万0千円	50万0千円	62.5%	0.0%
地方交付税	26億5,000万0千円	26億0万0千円	5,000万0千円	1.9%	40.9%
交通安全対策特別交付金	63万2千円	65万9千円	△2万7千円	△4.1%	0.0%
国庫支出金	3億7,711万1千円	5億1,084万0千円	△1億3,372万9千円	△26.2%	5.8%
道支出金	3億6,992万5千円	6億91万1千円	△2億3,098万6千円	△38.4%	5.7%
町債	5億6,890万0千円	13億4,680万0千円	△7億7,790万0千円	△57.8%	8.8%
小計	42億679万8千円	53億1,105万8千円	△11億426万0千円	△20.8%	64.9%
合計	64億8,100万0千円	71億180万0千円	△6億3,700万0千円	△8.9%	100.0%

【用語解説】

自主財源 とは

町が自らの責任において、自主的・主体的に収入することができる財源です。

科 目	解 説
町 税	町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、入湯税です。
分 担 金 及 負 担 金	分担金とは、町が一部や特定の人に対して特に利益のある事業を行う場合に、その必要な費用に充てるため、利益を受ける人から徴収するお金のことです。 負担金とは、一定の事業について特別の利害関係がある人から、その事業にかかる費用を、受益の程度に応じて徴収するお金のことをいい、分担金と似た性格をもっています。
使 用 料 及 手 数 料	使用料とは、町が所有している施設などを利用するときに、納付されるお金のことです（各施設使用料、町営住宅使用料など）。 手数料とは、町が特定の人へ行うサービスの対価として納付されるお金のことです（戸籍手数料、ごみ処理手数料など）。
財 産 収 入	町が所有している財産に対する貸付や売り払いの対価や基金の運用利息等のことです（土地建物貸付料、町有林素材売払代金、各種基金の利子収入など）。
寄 附 金	町に対する寄附です。ふるさと納税を含みます。
繰 入 金	基金（貯金）からの取り崩しです。
繰 越 金	前年度からの繰越金です。
諸 収 入	学校給食費や各種貸付金収入など、その他の収入です。

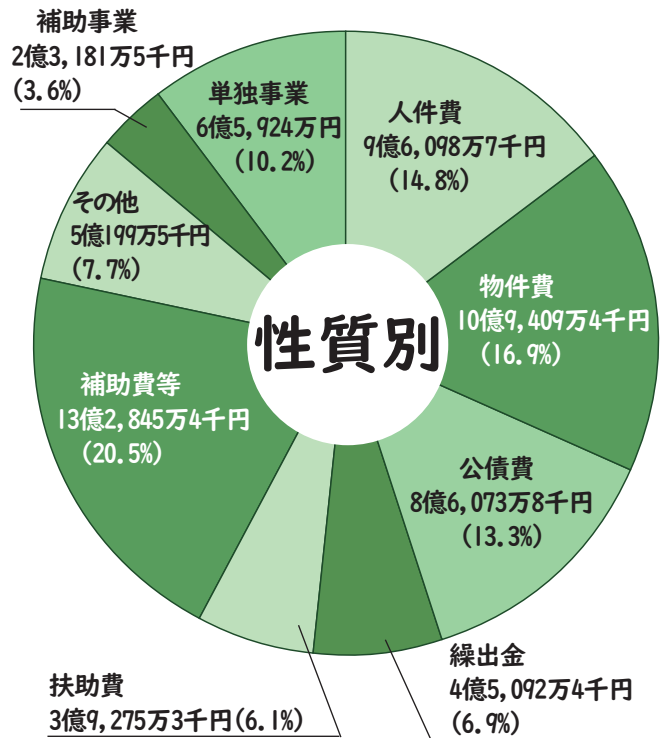
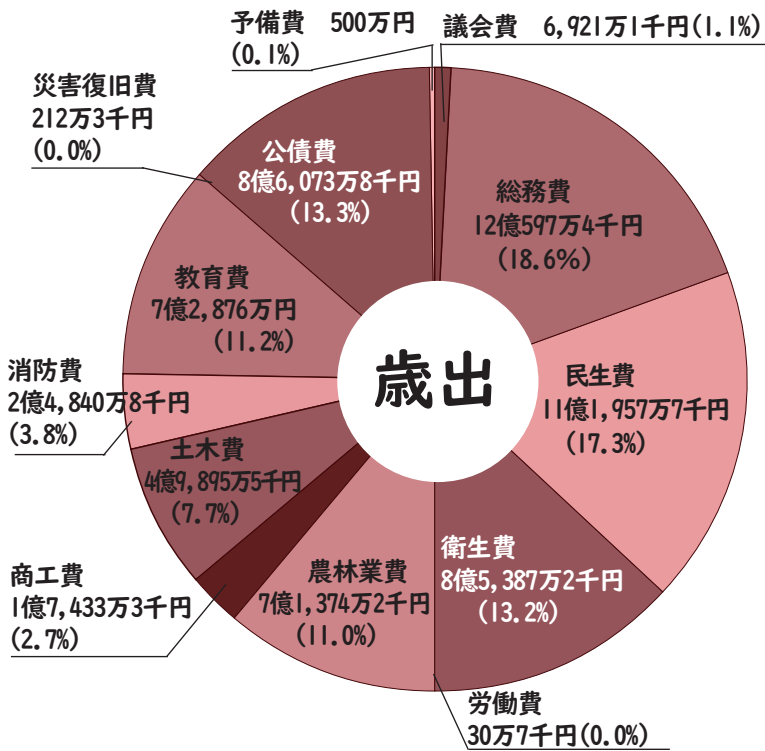
依存財源 とは

国や道などから定められて額を交付、割り当てられる財源です。

科 目	解 説
地 方 譲 与 税	手続き上国税として徴収される地方税（自動車重量税など）で、国が一定の基準に従って町に配分します。
利 子 割 交 付 金	金融機関などでの利子にかかる税で、道が徴収し、一定の基準に従って町に配分します。
配 当 割 交 付 金	一定の上場株式等の配当等にかかる税で、道が徴収し、一定の基準に従って町に配分します。
株 式 譲 渡 所 得 割 交 付 金	源泉徴収口座の株式等の譲渡所得にかかる税で、道が徴収し、一定の基準に従って町に配分します。
法 人 事 業 税 交 付 金	法人事業税の一部を、道が一定の基準に従って町に配分します。
地 方 消 費 税 交 付 金	消費税のうち22/78は各都道府県に配分され、その中から一定の基準に従って町に配分されます。
自 動 車 税 環 境 性 能 割 交 付 金	道で徴収した自動車税環境性能割から一定の基準に従って町に配分されます。
地 方 特 例 交 付 金	国の恒久的減税に伴う町税の減収の一部を補てんするために交付されます。
地 方 交 付 税	所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税の中から、国が一定の基準に従って町に交付します。
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	交通反則金から、国が一定の基準に従って町に交付します。
国 庫 支 出 金	町などが行う特定の事務事業に対して、国が交付する、補助金、交付金、委託金です。
道 支 出 金	町などが行う特定の事務事業に対して、道が交付する、補助金、交付金、委託金です。
町 債	町が事業をするために借入をする長期の借入金（地方債）です。

歳出

性質別



歳出

科目	令和5年度予算額	令和4年度予算額	増減額	増減率	歳出に占める割合
議会費	6,921万1千円	6,887万7千円	33万4千円	0.5%	1.1%
総務費	12億5,977万4千円	13億8,085万2千円	△1億7,487万8千円	△12.7%	18.6%
民生費	11億1,957万7千円	11億2,668万4千円	△710万7千円	△0.6%	17.3%
衛生費	8億5,387万2千円	6億8,483万7千円	1億6,903万5千円	24.7%	13.2%
労働費	30万7千円	30万8千円	△1千円	△0.3%	0.0%
農林業費	7億1,374万2千円	12億3,235万6千円	△5億1,861万4千円	△42.1%	11.0%
商工費	1億7,433万3千円	1億1,620万5千円	5,812万8千円	50.0%	2.7%
土木費	4億9,895万5千円	5億6,407万2千円	△744万7千円	△1.5%	7.7%
消防費	2億4,840万8千円	2億9,756万0千円	△4,915万2千円	△16.5%	3.8%
教育費	7億2,876万0千円	9億5,545万3千円	△2億2,669万3千円	△23.7%	11.2%
災害復旧費	212万3千円	213万2千円	△9千円	△0.4%	0.0%
公債費	8億6,073万8千円	7億4,133万4千円	1億1,940万4千円	16.1%	13.3%
予備費	500万0千円	500万0千円	0千円	0.0%	0.1%
合計	64億8,100万0千円	71億1,800万0千円	△6億3,700万0千円	△8.9%	100.0%

性質別

科目	令和5年度予算額	令和4年度予算額	増減額	増減率	歳出に占める割合
人件費	9億6,098万7千円	9億7,826万7千円	△1,728万0千円	△1.8%	14.8%
物件費	10億9,409万4千円	9億5,557万5千円	1億3,851万9千円	14.5%	16.9%
公債費	8億6,073万8千円	7億4,133万4千円	1億1,940万4千円	16.1%	13.3%
繰出金	4億5,092万4千円	4億3,827万1千円	1,265万3千円	2.9%	6.9%
扶助費	3億9,275万3千円	3億7,313万7千円	1,961万6千円	5.3%	6.1%
補助費等	13億2,845万4千円	12億6,985万1千円	5,860万3千円	4.6%	20.5%
その他	5億1,997万5千円	4億6,327万2千円	3,872万3千円	8.4%	7.7%
補助事業	2億3,181万5千円	10億7,025万6千円	△8億3,844万1千円	△78.3%	3.6%
単独事業	6億5,924万0千円	8億2,803万7千円	△1億6,879万7千円	△20.4%	10.2%
合計	64億8,100万0千円	71億1,800万0千円	△6億3,700万0千円	△8.9%	100.0%

【用語解説】

歳出

科 目	解 説
議 会 費	議会の運営や議会報の発行などにかかる経費です。
総 務 費	財政、税務、公共交通、戸籍、選挙、まちづくりなど行財政全般にかかる経費です。
民 生 費	社会福祉、児童福祉、高齢者福祉、住民活動、交通安全などにかかる経費です。
衛 生 費	健康推進、地域医療、ごみ処理などにかかる経費です。
労 働 費	労働対策にかかる経費です。
農 林 業 費	農業、林業振興などにかかる経費です。
商 工 費	商工、観光、消費者行政などにかかる経費です。
土 木 費	道路橋梁の維持管理、町営住宅管理などにかかる経費です。
消 防 費	消防、防災対策などにかかる経費です。
教 育 費	小中学校、給食センター、図書館、社会教育、スポーツ・文化振興、スクールバス、津別高校支援などにかかる経費です。
災 害 復 旧 費	災害復旧工事などにかかる経費です。
公 債 費	借入金（地方債）の償還金です。
予 備 費	予算外の支出や予算超過の支出に充てるための経費です。

性質別

科 目	解 説
人 件 費	特別職と職員の給料や社会保険料のほか、議員や各種委員、会計年度任用職員などに報酬や給料として支払われる経費です。
物 件 費	謝礼、旅費、交際費、物品の取得代や修理代、郵便料、電話料、業務委託の委託料、ものを借りた場合の賃借料（リース代）や使用料、工事や修繕をするための材料購入費用などです。
公 債 費	借入金（地方債）の償還金です。
繰 出 金	特別会計等に支出する経費です。
扶 助 費	社会保障制度の一環として、生活困窮者、児童、高齢者、障がい者等に対して行う支援に要する経費です。
補 助 費 等	他の地方公共団体や民間団体等に対して、行政上の目的から交付される経費です。
補 助 事 業	町が国や道から補助を受けて行う事業です。
単 独 事 業	町が国や道からの補助が無い、独自の財源で行う事業です。

2 令和5年度の主な事業

住民企画課

- 財 政……予算の執行や決算、経理に関すること
税 務……町民税や固定資産税等の計算に関すること
収 納……税金等の徴収、納税証明書発行などに関すること
企 画……総合計画・総合戦略の推進、まちなか再生事業、広報・広聴、
統計調査などに関すること
住民環境……自治会や町交通安全、ごみ処理やリサイクルの推進に関すること

継続
ふるさと納税を通じ
て地域の魅力を発信します
6,905万9千円

津別町に寄附をしていただいた方に、町の特産品などを返礼品としてお送りします。ふるさと納税を通じて町と特産品のPRを行い、地域活性化を目指します。今年度は、1億円の寄附額を目標に取り組んでいきます。

継続
人づくり・まちづく
り支援事業を行います
330万5千円

※ふるさと納税を活用しています。

町の産業、福祉、スポーツなど各分野において、まちづくりのリーダー育成と団体の自主的なまちづくり活動を支援します。

継続
大学生と連携し
まちづくりを進めます
246万3千円

※ふるさと納税を活用しています。

大学生の柔軟な発想をまちづくりに取り入れるとともに、町内の高校生との高大連携事業を通じた若い世代のまちづくりへの参画を促進します。

継続
まちなか再生事業の
取り組みを進めます
1億5,776万4千円

津別町複合庁舎建設等まちなか再生基本計画におけるコミュニティゾーンについて、多世代が自由に利用でき、憩いの場として、買い物拠点や図書館、交通拠点等を計画的、効果的に整備していくため、市街地総合再生基本計画の推進を図ります。

継続
移住・定住の相談
窓口を運営します
609万8千円

※ふるさと納税を活用しています。

移住・定住を希望する人に、暮らしの情報や、住まいの情報、仕事の情報などを提供します。また、空き家バンクを通じて、空き家の利活用を推進します。

継続
地域おこし協力隊
事業を実施します
4,550万8千円

「地域おこし協力隊員」による地域協力活動を通じて、地域活性化や地域資源発掘など地域力の維持・強化につながる取り組みを行います。

継続
インターネットテレビ番組「タウンニュースつべつ」を配信します
396万円

※ふるさと納税を活用しています。

毎月、テレビ番組「タウンニュースつべつ」を制作し、観光やグルメ、企業紹介など津別町に関する情報を、インターネットを通じて全国に配信します。また、役場庁舎、さんさん館、津別病院、道の駅、小学校・中学校・高校でも視聴することができます。



継続
し尿収集と処理を行います
3,090万3千円

し尿収集を町内事業者へ委託し、処理を行います。

継続
生ごみの堆肥化処理を行います
1,048万1千円

津別町、大空町の生ごみを津別町堆肥製造施設で受け入れ、広域処理を行います。

継続
花のまち推進事業を行います
79万1千円

花のまち推進協議会を主体に、フラワーマスター連絡協議会など各団体と連携し、さらなる花のまちづくりを推進します。

継続
リサイクルの推進を行います
1,792万8千円

リサイクルセンターで、資源物の仕分け作業を行います。

継続
ごみ収集を行います
3,386万9千円

町内のごみ収集と、北見市の焼却処理施設への運搬を行います。

継続
最終処分場の管理を行います
6,779万3千円

一般廃棄物最終処分場で埋め立て処理と施設管理を行います。

継続
ごみの焼却処理を行います
1,350万円

北見市の焼却施設で処理を行います。



保健福祉課

戸籍・年金……戸籍謄本・印鑑登録証明書、住民票、マイナンバー等の交付や、年金事務に関すること

健康推進……子どもから成人の健康相談や健診に関すること

国保……国民健康保険と後期高齢者医療の健康保険事務に関すること

福祉……父子及び母子、寡婦、障がい者等の支援に関すること

介護保険……介護保険の認定、給付に関すること

高齢者支援……地域の高齢者への支援活動、介護相談に関すること

医療費助成を行います

継続

○重度心身障がい者医療費助成制度

1,280万8千円

重度の障がい（1・2級と3級の一部）を持つ方へ医療費の一部を助成します。

※保険診療分対象。課税および所得要件有。

○ひとり親家庭等医療費助成制度

235万9千円

ひとり親家庭（母子・父子家庭）の方へ医療費の一部を助成します。

※保険診療分対象。課税、所得、年齢要件有。

○子ども医療費助成制度

1,226万4千円

18歳の年度末までの子どもの医療費を全額助成します。

※保険診療分対象。入院時の食事療養費は除く。

各種検診を行います

継続

543万円

病気の予防・早期発見のために各種検診を行います。

○胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診

40歳以上の方

○前立腺がん検診

50歳以上の男性の方

○乳がん検診

40歳以上の女性の方（2年に1回）

○子宮頸がん検診

20歳以上の女性の方（2年に1回）

○エキノコックス症検診

小学校3年生以上の方（5年に1回）

○肝炎検診

40歳以上の方(今まで受けたことのない方)

○歯周病検診

40・50・60・70歳の方（後期高齢者の方にも別途実施されます）

簡易脳ドック・心血管ドック助成を行います

継続

85万円

40歳から74歳までの国民健康保険被保険者（令和3年度・令和4年度に受診した方は除きます）を対象に、脳および心臓の病気の予防、早期発見のために簡易脳ドック・心血管ドック助成事業を行います。

特定健診を行います

継続

949万6千円

特定健診 514万5千円

健康づくり 435万1千円

30歳から74歳までの国民健康保険被保険者を対象に、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した、生活習慣病の予防のための健診を行います（後期高齢者の方にも、同様の健診が実施されます）。

継続 新生児聴覚検査助成事業を実施します 7万5千円

出生後、入院中の赤ちゃんに行われる新生児聴覚検査の費用を全額助成します。

継続 妊産婦通院交通費助成事業を実施します 36万5千円

妊産婦さんにご家族の経済的負担を軽減し、安心して妊娠期を過ごし出産を迎えられるよう、妊産婦健診等に伴う交通費を助成します。妊産婦健診・出産のための通院に対して、片道につき715円を助成します。

継続 子どもの歯の健康を守ります 47万1千円

子どもの歯の健康のために、検診やフッ素塗布・洗口を行います。

○乳幼児健診、相談会での歯科検診・相談
・乳幼児相談会にて歯科衛生士による歯科相談を受けられます。

・1歳6か月児健診と3歳児健診では、歯科検診・相談とフッ素塗布があります。

○歯科検診・フッ素塗布

1歳～小学校入学前のお子様へ、歯科検診・フッ素塗布の料金の一部助成を行います。

○フッ化物洗口

こども園に入園している年中・年長クラスのお子様で、希望される方対象に、毎日フッ化物洗口を実施しています。

継続 健診結果相談・健康相談を行います 3万円

特定健診やがん検診の結果や健康に関する相談を行います。町の集団健診を受けた方は、約1か月後に相談会の案内を送付します。その他の方は随時ご相談に応じます。

継続 妊婦さんの相談・健診等を行います 192万3千円

妊婦さん向けの相談・健診・学習会を行います。

○母子手帳の交付

病院で母子手帳をもらうようお話がありましたら、健康推進係へお越しく下さい。

○妊産婦健診料助成

一般健診、超音波検査の健診料金を助成します。助成回数は最大で14回、超音波検査が6回、産婦健診が2回です。

○産後ケア事業

産後1年の間、医療機関や助産院の助産師による産後ケアサービスを最大9回受けることができます。産後の悩みや育児相談、授乳のアドバイスなどを受けることができます。

○プレママ学級

同じ時期に出産する妊婦さんが集まり、楽しくお産や育児の準備をする会です。

○パパママ学級

妊婦さんとパートナーと一緒に参加できる両親学級です。パートナーが妊婦さんの疑似体験をしたり、沐浴(赤ちゃん入浴)の練習も行います。

○相談

妊娠期に関する相談をお受けします(電話・役場での面談・訪問など)。

○離乳食教室(4～7か月、8～11か月)

4～7か月、8～11か月のお子様と保護者を対象に、離乳初期～後期の離乳食の学習、調理実習などを行います。

継続 母子手帳アプリで地域の情報を配信します 26万4千円

妊娠から出産、育児をサポートする母子手帳アプリ「母子モ」にて、津別町で利用できる子育てサービスの情報や、月齢にあった各種教室などのご案内を行います。

継続

子どもの健診・育児 相談等を行います 127万1千円

子どもの健やかな成長のために各種健診・相談・学習会を行います。

○乳幼児健診

- ・乳児（3～4か月、9～10か月）健診（病院委託）
- ・1歳6か月健診（集団健診）
- ・3歳児健診（集団健診）

○乳幼児相談会

毎月1回実施し、栄養・歯・療育の事など育児全般の相談を各専門職に相談ができます。

○5歳児相談

発達の専門家による相談会です。

○相談

育児に関する相談をお受けします（電話・役場での面談・訪問など）。

○育児学級

約1歳までのお子様の保護者を対象に、子どもの体と言葉の育ち、食事などについて学習します。

○離乳食教室

7～12か月のお子様と保護者を対象に、離乳後期・完了期の離乳食の学習、調理実習などを行います。

継続

子ども・子育て支援 事業を実施します 1億2,695万2千円

※ふるさと納税を活用しています。

- こども園の利用者負担の軽減、給食を無料で行います。
- 認定こども園「こどもの杜」へ運営費補助を行います。
- 一時預かり、延長保育、体調不良型保育、子育て支援センター事業をこども園に委託します。

継続

児童手当を支給します 4,156万7千円

- ・3歳未満・・・月額1万5千円
- ・3歳以上小学校終了前（第1子・第2子）・・・月額1万円
- ・3歳以上小学校終了前（第3子以降）・・・月額1万5千円
- ・中学生（一律）・・・月額1万円
- ・所得制限額以上の場合・・・月額5千円または0円。

例）夫婦・子ども2人世帯の場合、収入額が960万円以上1,200万円未満の場合は月額5千円、1,200万円以上の場合は支給されません（扶養親族類により収入額の上限が変わります）。

継続

各種予防接種を行い ます 935万9千円

感染症予防のため各種予防接種を行います。

○大人

- ・インフルエンザ（65歳以上）
- ・成人用肺炎球菌（65歳からの5歳刻み）
- ・風しん
- 昭和37年～53年度生まれの男性
- 将来妊娠を希望する19～49歳の女性または現在妊娠している女性の夫

○子ども

- ・ヒブ ・小児用肺炎球菌 ・BCG
- ・2種混合 ・4種混合 ・おたふく
- ・麻しん風しん混合 ・ロタウイルス
- ・子宮頸がん等予防
- ・日本脳炎 ・B型肝炎
- ・インフルエンザ（1歳～中学3年生）
- ・水痘（1歳から就学前）

継続

地域医療維持の助成 を行います

2億4,000万円

住民の健康を守る地域医療を維持確保するため、救急医療を含め津別病院に助成を行います。

継続

バス無料乗車券を交付します 688万4千円

バス無料乗車券の交付対象者は、次のとおりです。

○対象者

①70歳以上の方（昭和27年4月1日以前に生まれた方）。

※本年中に、70歳になられた方も助成対象となります。

②3級以上の身体障がい者手帳をお持ちの方（寝たきり等でバスの乗車が不可能な方は除きます）。

③療育手帳をお持ちの方

④精神保健福祉手帳をお持ちの方

⑤②・③・④のうちひとりでバスに乗車できない方の介護者（②は第1種の方、③は18歳未満の方又はA判定の方、④は1級の方）

○申請に必要なもの

・印鑑(代理申請の場合は代理者の印鑑も必要)

継続

認知症高齢者を支援する事業を行います

515万1千円

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けるために、医療、介護等の関係機関が連携しながら支援する事業を行います（委託事業を含む）。

例）認知症初期集中支援チームによる訪問、認知症カフェの開催、認知症の人にやさしいお店登録事業の実施、認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座の実施、認知症の人の家族の茶話会や出前講座、認知症高齢者の安否確認訪問、徘徊高齢者捜索模擬訓練、SOSネットワーク事業など

継続

高齢者の介護予防事業を行います

796万3千円

高齢者の運動機能の向上や認知症予防、閉じこもり予防を目的に、年齢ごとの家庭訪問や介護予防教室の開催、地域活動を支援します（委託事業を含む）。

例）いきいき百歳体操、ふれあい・いきいきサロン、生活支援サポートセンター事業、介護予防いきいきボランティアポイント事業、ミズナラ倶楽部(通所型介護予防教室)、高齢者向け運動教室など

継続

障害者総合支援事業を行います

2億8,370万5千円

障がい者の社会参加の機会の確保および地域社会における共生の実現に向けて、障害福祉サービスの充実等障がい者の日常生活および社会生活を総合的に支援します。

継続

高齢者の権利を守る事業を行います

156万6千円

高齢者の尊厳を守り地域で安心して生活できるよう、専門的・継続的な視点から、高齢者の権利擁護のため必要な支援活動を行います。

例）成年後見制度の普及啓発や利用に関する支援、消費者被害防止、高齢者虐待防止に関する活動など

継続

高齢者の総合的な相談対応を行います

10万9千円

高齢者が地域で安心して生活できるよう、多様な相談内容に対応し、専門的・継続的な支援、並びに地域の関係職種との連携や必要となるネットワークの構築など行います。

例）健康相談や講話の依頼、介護保険や福祉制度の利用の相談、健康管理や医療の相談、施設入所や住み替えの相談など

産業振興課

林 政……林業の振興や町有林の保護・管理に関すること
商工観光……商工業や観光の振興、森の健康館に関すること
農 政……農業や畜産の振興、土地改良に関すること
耕 地……農業農村整備に関すること
再エネ推進…再生可能エネルギーの導入推進に関すること
農業委員会事務局…農地の権利移動の許可に関すること

道営土地改良事業を行います 1億4,297万円

新規 

農地の区画整理整備を実施することによって生産基盤の強化を行い、地域農業の生産効率・安全性の向上を目指し事業を推進します。

農業水路等長寿命化・防災減災事業を行います 1,600万円

新規 

農業水路等を改修し、施設の長寿命化を図ります。

農地耕作条件改善事業を行います 1,509万2千円

継続

農地の生産性向上を図るため、農業用排水路を改修し基盤整備を行います。

多面的機能支払交付金事業を行います 6,371万3千円

継続

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域で行う農地・水路・鹿柵・農道等の資源や環境の保全管理活動に対して支援を行います。

国営農地再編整備事業を行います 7,504万円

継続

農地の区画整理や排水対策等の生産基盤整備を広域的に行い、農産物等の生産拡大や農地の集積、農用地の効率的な利用を目指し事業を推進します。

国営農地再編整備事業負担金支払基金を積み立てます 5,000万7千円

継続

事業完了後の地元負担金一括償還に備え、基金を積み立てます。

有害鳥獣駆除を実施します 485万3千円

継続

猟友会津別支部やJAつべつと協力し、農作物の食害等を防止するため、エゾシカ、ハト・カラスの駆除を実施します。

町有林整備事業を行います 6,783万4千円

継続

施業計画に基づき、造林事業、保育事業、間伐事業など町有林の森林整備を行います。

継続
愛林のまち緑資源を
守る推進事業を行います
810万5千円

※ふるさと納税を活用しています。

民有林振興対策として、造林事業や保育事業に丸玉木材森づくり基金を充当し事業を推進します。

継続
森林管理認証の取得
を支援します
15万円

町内の認証林から産出される認証材の利用拡大を図っていくために、生産・加工・流通工程の管理認証を取得または更新する事業者に対して助成を行います。

継続
森林環境譲与税活用
事業を行います
1,454万8千円

国より交付される森林環境譲与税を活用し、新規に林業に従事される方や、林業の担い手確保に関する取り組みへの支援、林業の労働環境の改善に向けた安全装備品や、林業機械購入に対する助成、町内私有林の森林整備に対する支援を行います。

継続
UIJターン新規
就業支援事業を実施します
100万円

東京圏から町内へ移住し、北海道が運営するマッチングサイトに登録されている企業に就業、または北海道が実施する起業支援事業により起業された方を支援します。

新規
木質バイオマスセン
ターで製造する木質チップ
を調査・分析します
431万3千円

令和5年度からの「つべつ木質バイオマスセンター」の稼働、「つべつウッドロスマルシェ」の運用開始に伴い、製造された木質チップの品質を試験にて確認するとともに、販売における用途の精査（ペレット用原料、燃料用、農畜産用等）を実施し、地域内エコシステムの構築と木質バイオマスの地産地消を目指します。

継続
小規模事業者若者
雇用促進事業を実施します
144万円

町内において若年者の正規雇用に積極的に取り組む小規模事業者を支援します。

継続
起業等振興促進事業
を実施します
2,883万2千円

町内において新たに事業活動を行う方や現在事業を行っている方の施設・設備投資、増改修等を支援します。


令和5年度より、集合住宅を新設する際の補助金限度額を増額します。

※変更前 2,000万円、変更後 2,500万円

継続
地域特産品販路拡
大支援事業を実施します
120万円

町外への販路拡大のために見本市等に出展する町内企業を支援します。


1企業あたり3回までに支援を拡大します。

新規 

道の駅あいおいの
環境整備事業を行います
313万5千円


※ふるさと納税を活用しています。

- ・ 庇改修工事
店舗入口付近の凍結による転倒防止対策を行います。
- ・ 高圧気中開閉器更新工事
老朽化した電気設備の更新工事を行います。

新規 


道の駅あいおいの
20周年祭を実施します
200万円

今年度、道の駅あいおいは認定から20周年を迎えます。更なる知名度向上を目指し、各種イベントを行います。

新規 


21世紀の森キャン
プ場の木電柱の更新工事を
行います
422万4千円

キャンプ場へ続く道の脇にある木電柱が老朽化しているため、更新工事を行います。

新規 


チミケツップキャン
プ場の看板を更新します
314万6千円

キャンプ場内の看板が老朽化しているため、安全かつ快適なキャンプ場利用のために看板の更新を行います。

新規 

津別峠展望施設の
循環式排水再利用処理装置
を更新します
4,049万1千円


トイレ排水の循環式排水再利用処理装置が老朽化しているため、更新工事を行います。

新規 

河岸公園の環境整備
を行います
636万2千円

バーベキューハウス内の床タイルが老朽化しているため、コンクリート床へ更新します。あわせて、ゆっくり休憩いただけるよう、テーブルとベンチを設置します。


川沿いの木柵が老朽化しているため、川沿いへの車等の乗り入れを禁止する柵を設置します。

新規 

河岸公園の遊具を
更新します
1,255万1千円

河岸公園内の遊具が老朽化しているため、数年かけて遊具の更新を行います。

今年度は小さい子向けの遊具を設置します。

新規 

木材工芸館のテラス
の防水工事を
行います
596万2千円

2階テラスの防水工事を行います。

新規



森の健康館設備の 更新・改修を行います

1,692万4千円

- ・ 高圧電気設備更新工事
老朽化した電気設備の更新工事を行います。
- ・ 大浴場露天風呂通路改修工事
寒さ対策のため、露天風呂へ続く通路の改修工事を行います。
- ・ ロビーソファ購入
ロビーソファが老朽化しているため、ソファの更新を行います。

新規



多目的活動センター の広場デッキの改修工事 を行います

1,343万1千円

木製デッキが老朽化しているため、改修工事を行います。

継続

温泉無料送迎バスを 運行します

155万円

「ランプの宿 森つべつ」行きの無料送迎バスを運行します（津別市街地、活汲方面、相生・本岐方面）。



継続

森の健康館の入浴料 を助成します

281万7千円

町民入浴優待券の利用で入浴料の一部を助成します（1人5枚つづり1シート）。
また、町民入浴優待回数券の購入料金の一部を助成します（1組13枚つづり）。

継続

第50回つべつ 夏まつりを実施します

770万2千円

最大の夏のイベントが、50回目の節目を迎え、記念事業としてのPRも行います。

継続

観光PR事業を 実施します

210万1千円

道内外の各種観光フェアへの出展、旅行会社へのプロモーション活動、NPO 法人津別観光協会へ広告宣伝業務を委託し、津別町の魅力を発信していきます。

継続

消費生活相談業務を 実施します

53万1千円

悪質商法や商品・サービスなどの契約に関するトラブル、商品の品質や安全性など消費生活に関するさまざまなご相談に応じます。

建設課

住 宅……公営住宅の管理、定住促進、空家対策に関すること

水 道……水道、下水道の工事・管理、料金に関すること

道路河川……町道、河川の工事・管理や町道の除排雪、まちバスの運行や町有車両の管理に関すること

新規



共和第2団地の
屋根を塗装します

651万2千円

共和第2団地（国道側）の屋根を塗装します（2か年計画）。

継続

空家活用促進事業を
行います

150万円

空家の活用を促進するため、貸主または借主の住宅改修に費用の一部を補助します。

新規



豊永団地の内部を
一部改修します

1,050万円

豊永団地の空室となっている住宅の内部を一部改修します。

継続

町内に定住する方に
助成します

2,090万円

持ち家を新築する方、中古住宅を購入される方、住宅を改修される方に費用の一部を助成します（ふるさと定住促進事業）。

継続

豊永団地の外壁等を
改修します

647万9千円

豊永団地の外壁等の木部を改修します（4か年計画）。

継続

空家等撤去促進事業
を行います

750万円

良好な生活環境と美しい景観を創出することを目的に、空家や廃屋を自主的に撤去する方に費用の一部を助成します。

継続
個別排水処理浄化槽
を設置します
2,170万円

公共下水道の区域外の地域で、水洗トイレなどが使用できる個別排水浄化槽（合併浄化槽）を、5基設置します。

継続
水道施設の電気計装
設備を更新します
594万円

相生浄水場大昭配水池に設置している、老朽化した電気計装設備を更新します。

継続
下水道施設の改築・
更新を行います
2億7,312万円

ストックマネジメント計画に基づき、下水道管理センターの機械・電気計装設備更新工事、建築改修工事を行います。またマンホールポンプ所の通信設備改修工事を行います。

継続
高台配水場の配水池
の更新工事を行います
3億477万円

高台低区配水池更新実施設計に基づき、老朽化した配水池の更新を行います。

継続
未給水地区の飲み水
の安全確保を図ります
375万8千円

水道未給水地区の飲み水の安全性や量の確保を図るため、水質検査費用、井戸の堀削、浄水器の購入設置費用などに対して助成を行います。



継続
橋の補修を行います
1,953万6千円

橋梁の長寿命化を図るため、橋の補修工事を計画的に進めています。今年度は緑栄橋、層雲橋の補修を行います。

新規
大型免許等運転免許
取得費の一部を助成します
120万円

津別の事業所で働く方が大型免許等を取得する際の費用の一部を事業所に助成します。



新規

道路の改良工事を行います 1,371万7千円

舗装化されていない道路を改良して舗装化します。L=100 m (場所は18ページに掲載)



新規

バスレーンの整備を行います 3,051万4千円

新たに整備された大通棟バスターミナルに隣接する町道31号線にバスレーンを増設します。L=73 m (場所は18ページに掲載)。

継続

道路の補修工事を行います 8,278万2千円

下記道路の舗装工事や補修工事を行います(場所は18~20ページに掲載)。

○町道350号線舗装補修工事

延長=600.0 m

○町道301号線舗装補修工事

延長=92.0 m

○町道3号線側溝改修工事

延長=55.6 m

○町道350号線側溝改修工事

延長=190.0 m

○津高橋照明設置工事

灯具設置一式

○町道117号線陥没補修工事

面積=76.8㎡

継続

タクシー利用助成券 交付事業を実施します 282万1千円

75歳以上の町民の方で、一定条件を満たした方にタクシー利用助成券を交付します。

継続

スクールバスを運行 します 3,661万円

小・中学校の生徒、認定こども園の園児の通学・通園のため、混乗スクールバスを運行します。



継続

コミュニティバス 市街地巡回線を運行します 270万3千円

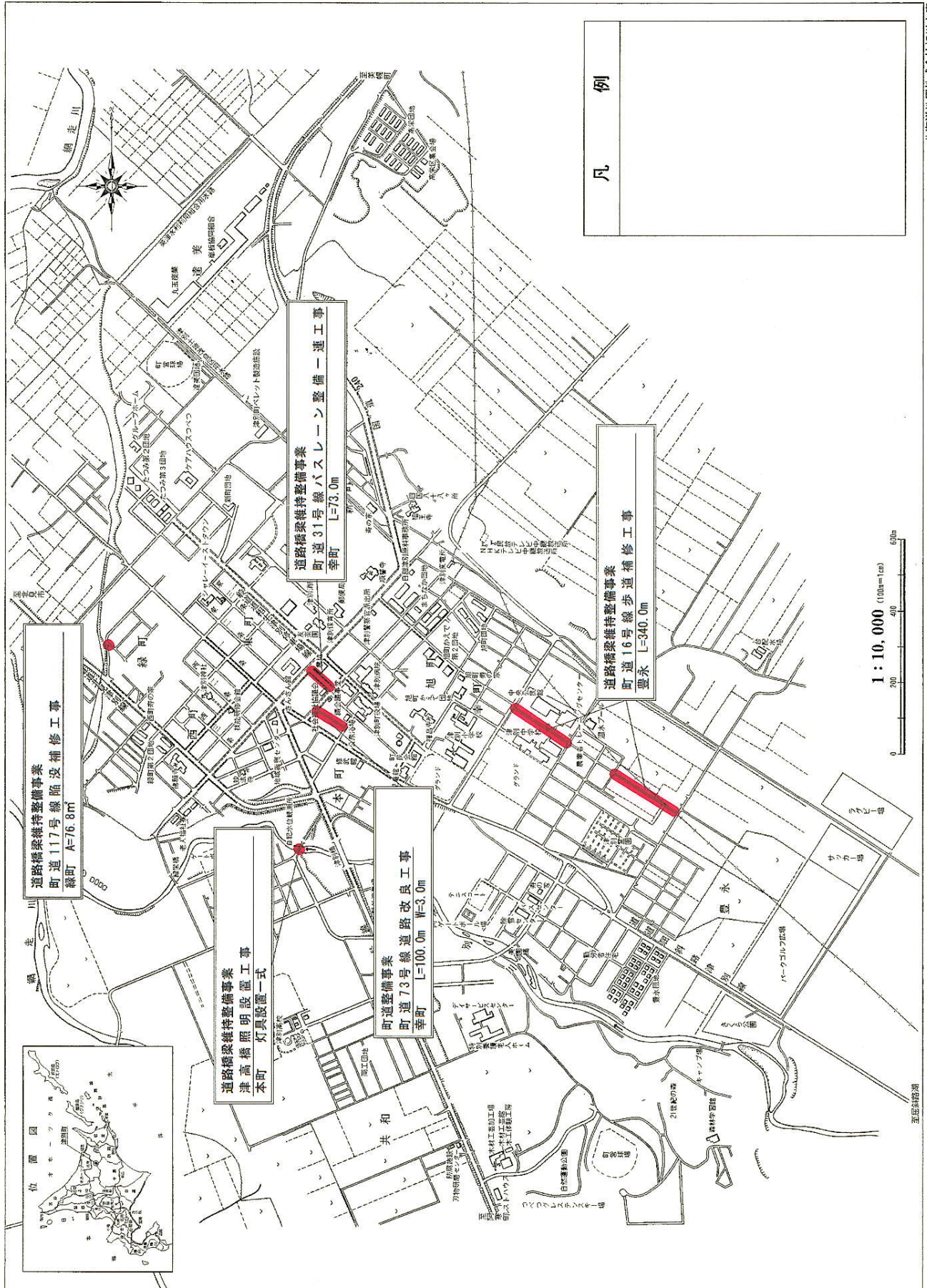
買い物や通院など皆さんの日常生活に必要な交通手段として、コミュニティバス市街地巡回線を運行します。

継続

歩道の補修工事を行います 1,361万8千円

歩道の補修工事を計画的に進めて行きます。今年度は1路線の補修を行います。L=340 m (場所は18ページに掲載)

津別町市街別図

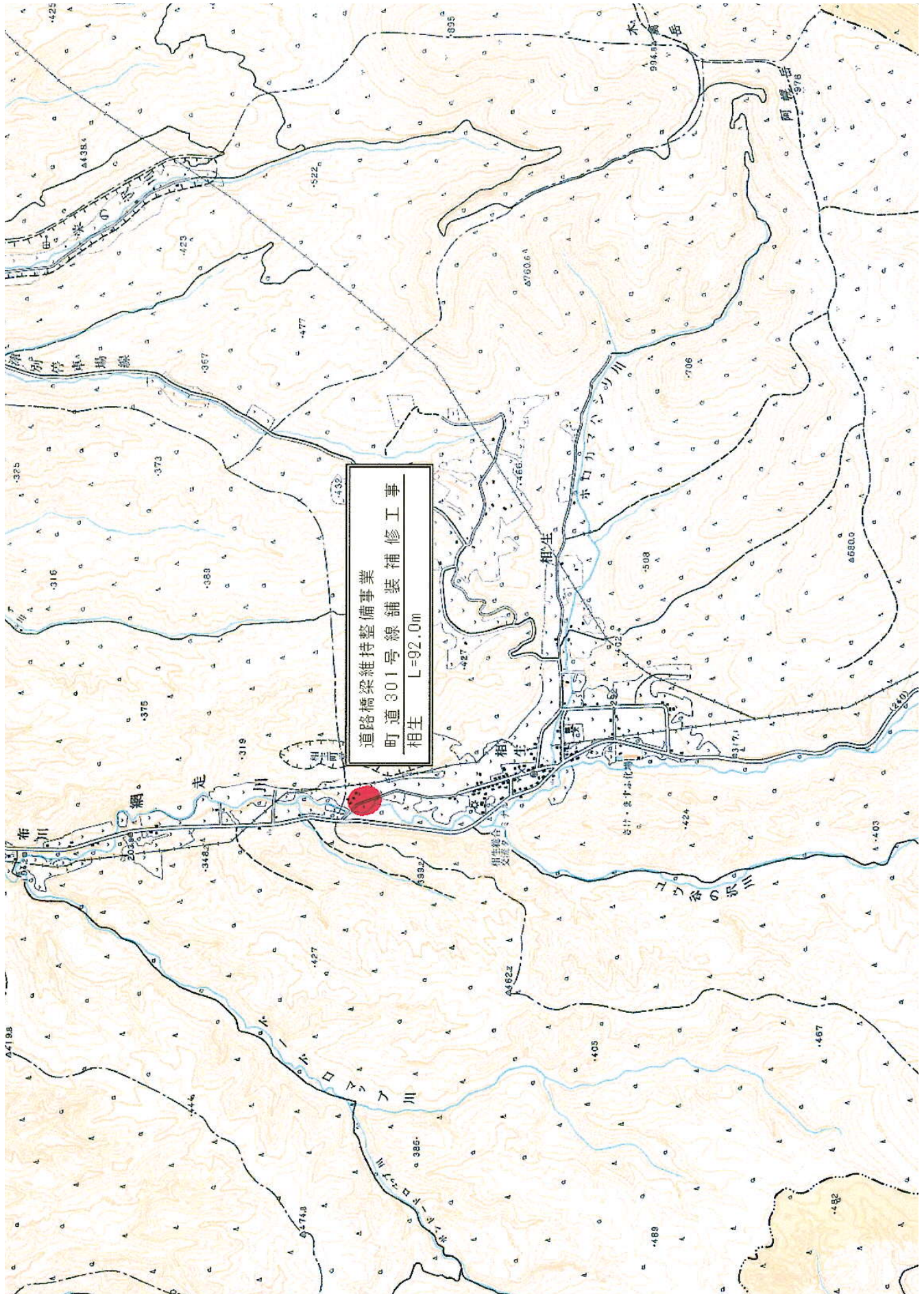


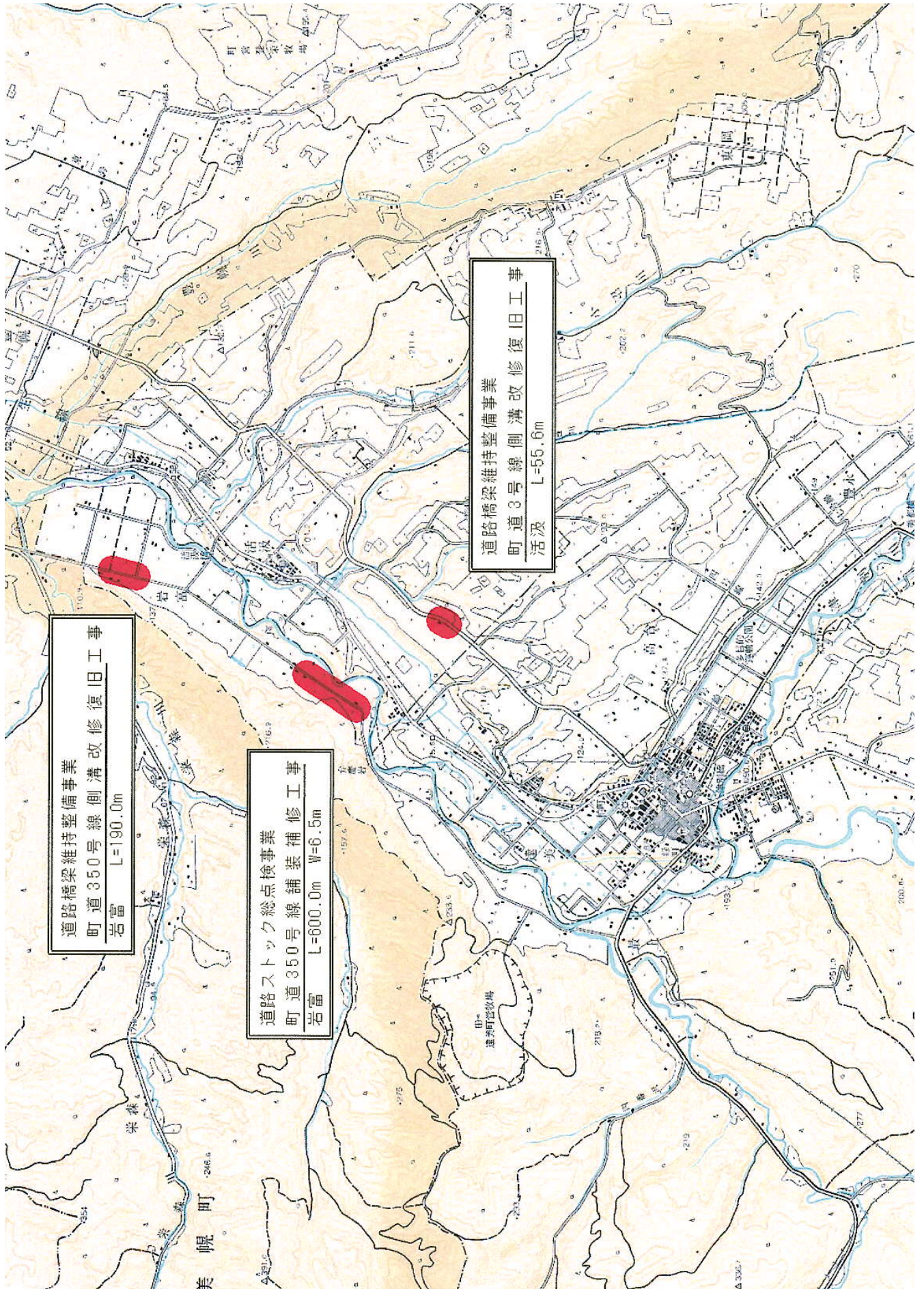
凡	例

平成二十五年二月

津別町役場

北海道地図株式会社旭川支店
電話 (0166) 63-5311





生涯学習課

学校教育……学校の管理や児童・生徒の就学に関すること

学校給食……給食センターの管理、運営に関すること

社会教育……生涯学習や児童館・図書館・中央公民館の管理、運営に関すること。スポーツ合宿や体育施設の管理、運営に関すること

新規



中学校のエレベーター改修工事を行います
3,135万円

平成8年に中学校に設置したエレベーターの新規入れ替え工事を行います。

継続

小・中学校のICT環境を整備します
131万2千円

小・中学校の授業で使うタブレットの更新等の整備を行います。

新規



ふるさと教育として
上空飛行体験を実施します
75万5千円

ふるさと教育の一環として、航空機をチャーターして、津別上空の飛行体験および空港見学・お仕事講座を行います。
(対象：津別中学校2年生)

継続

中学校への臨時教職員および小・中学校への学習補助員の配置を継続します
2,166万1千円

小学校および中学校において、個々に応じた学習支援を充実するため、臨時職員および学習補助員を配置します。

継続

「愛林のまち」
ならではの木育授業を
実施します
117万1千円

小学3年生・5年生、中学1年生を対象に、愛林のまち津別町ならではの木に触れあう木育授業を実施します。

継続

津別高校の存続を
支援します
3,815万1千円

津別高校を地域に存続させるため、従来の振興対策に加え、平成29年度から町として津別高校生や津別町民で町外の高校に通う高校生を対象に公設塾を開設し、令和元年9月から通年開設としています。

新規

小中学校児童生徒の 学校給食費を減額または 免除します

279万4千円

保護者の経済的負担の軽減のために、学校給食費を減額または免除します。

継続

二水郷中学生交流 事業（受入年）を行います 70万円

今年度は、台湾二水郷から二水国民中学校の生徒が来町する年となります。

国際交流を通じて異文化に触れ、国際的な感覚と視野を身につけることにより、人間豊かな人材の育成を目指します。

新規

給食センター建て替 えのための設計業務を 行います

2,204万7千円

老朽化している津別町学校給食センターの建て替えのための基本・実施設計業務を実施します。

継続

船橋市・南アルプス市 青少年交流事業を行います 250万円

今年度は、船橋市・南アルプス市の子どもたちがそれぞれ津別町に来町します。

両市の子どもたちとの交流を通じて、価値観を広げ、友情や絆を深めるなど心豊かな人間形成を築きます。

継続

津別オリジナルの 給食を提供します

97万6千円

オール津別給食 30万円

オーガニック牛乳 67万6千円

学校給食において、津別産食材のみを用いたオール津別給食を年3回提供します。

また、毎週水曜日は、小中学校にオーガニック牛乳を提供します。

※津別高校へは牛乳が提供されていません。

継続

放課後児童クラブ 事業を行います

10万1千円

保護者が就労等により、昼間家庭にいない小学生を対象に、遊びや生活の場を提供し、活動を通して健全育成を図ります。

継続

放課後子ども教室 事業を行います

169万9千円

すべての子どもを対象に、安全・安心な子どもの居場所を設け、地域の方々の協力を得て学習、スポーツ、文化活動、交流の機会を提供し、健全育成を図ります。



日本フィルセミナー 事業を行います

継続

320万2千円

全国から集まったアマチュア奏者に対し、日本フィルハーモニー交響楽団の団員がセミナーを実施します。最終日には、アマ・プロ全員でコンサートを行い、生のクラシック音楽を提供します。



つべつ紅葉マラソン 大会を行います

継続

90万円

マラソンを通じて参加者同士の友好の絆を深め、健康増進と体力向上を図ります。今年から大会運営を見直し、ハーフコースを廃止した形での開催となります。ローカルでアットホームな大会で津別町を盛り上げます。



リコーダーセミナー・ コンサート事業を行います

継続

117万円

全国から集まったリコーダー愛好家や近隣の小中学校の学生に対し、セミナーを実施します。

今年は、15周年記念事業としてプロの演奏者によるコンサートを行います。

オリンピック事業を 行います

継続

99万円

スポーツの楽しさと魅力を伝え、年齢や体力にとらわれず誰もが目的に応じてスポーツに親しむ機会として、アスリートによる各種スポーツ体験教室と講演会を実施します。

今年は子ども・親子向けにバレーボールとバドミントンの教室、町民向けにオリンピック秘話の講演会を行います。

健康づくり教室事業 を行います

継続

39万6千円

町民が健康で生き生きとした生活が営めるよう、運動教室を実施します。

体力・健康づくり、運動の習慣化を図るため、ひと月4週間でテーマ設定し、定期的に開催してさまざまなトレーニングを展開します。

青年活動プロジェクト and 事業を支援します

継続

25万円

町内在住・勤務する青年による活動を支援します。業種にとらわれず、新しい仲間と出会い、教養を深め、交流の横のつながりを築きながらさまざまな活動を行います。

図書館新館移設事業 を行います

新規



374万円

新図書館の開館に向けて、図書や図書物品の移設を行います。

図書館新館移設記念 事業を行います

新規



50万円

令和5年度に図書館が新しくなることから、リニューアルオープン記念事業を開催します。

温水プール内部改修 工事を行います

新規



2,092万2千円

プール本体のひび割れや欠損等、施設の老朽化が進んでいることから、施設内部の改修を行います。

中央公民館地下タンク コーティング工事を行います

新規



380万6千円

地下タンクの内面の腐食を防止するため、地下タンク内部のコーティングを行います。

アソビバ!つべつ 事業(自然体験・郷土学習等) を行います

継続

70万円

町内の小中学生を対象に、津別町の豊富なフィールドを活用した体験学習を通して、郷土愛の育成を図り、子どもたちの自主性や協調性を育むさまざまな事業を行います。

青少年芸術鑑賞事業 (小中学生対象)を行います

継続

144万円

小中学校や児童館での芸術鑑賞を行い、児童生徒の豊かな想像力や思考力、芸術性を養います。

芸術鑑賞事業を行います

継続

323万1千円

誰もが芸術鑑賞に触れ、豊かな情操の涵養を図ることとして、全世代向けに鑑賞事業を行います。

今年は「ぐっさんのハッピーオンステージ」(お笑いタレント山口智充)。トーク、ものまね、歌で楽しんでいただきます。

3 令和4年度出前講座一覧

住民企画課住民環境係

開催年月日	講座名	内容	対象者	会場
4月28日	交通安全教室	歩行時、自転車利用時における交通安全指導	津別小学校児童	津別小学校

産業振興課商工観光係

開催年月日	講座名	内容	対象者	会場
5月13日	消費生活講話	「悪質商法・特殊サギに気をつけて」 ～自分で防ぐ!みんなて守る～	寿大学	中央公民館
12月19日	消費生活講話	「働くときの基礎知識 ～社会に出る君たちへ～」	津別高校 3年生	津別高校

産業振興課再エネ推進係

開催年月日	講座名	内容	対象者	会場
9月28日	総合学習	総合的な学習の時間 「津別町地域資源の再認識」 の学習を深める	津別中学校 1年生	木質ペレット製造施設、西町団地、中学校

保健福祉課高齢者相談係

開催年月日	講座名	内容	対象者	会場
11月16日	認知症サポーター ステップアップ講座	認知症に関する基礎知識・ 理解を深めるための講義等	津別町在住の認知症サポーター 要請講座修了者	役場1階 健診ホール

防災危機管理室

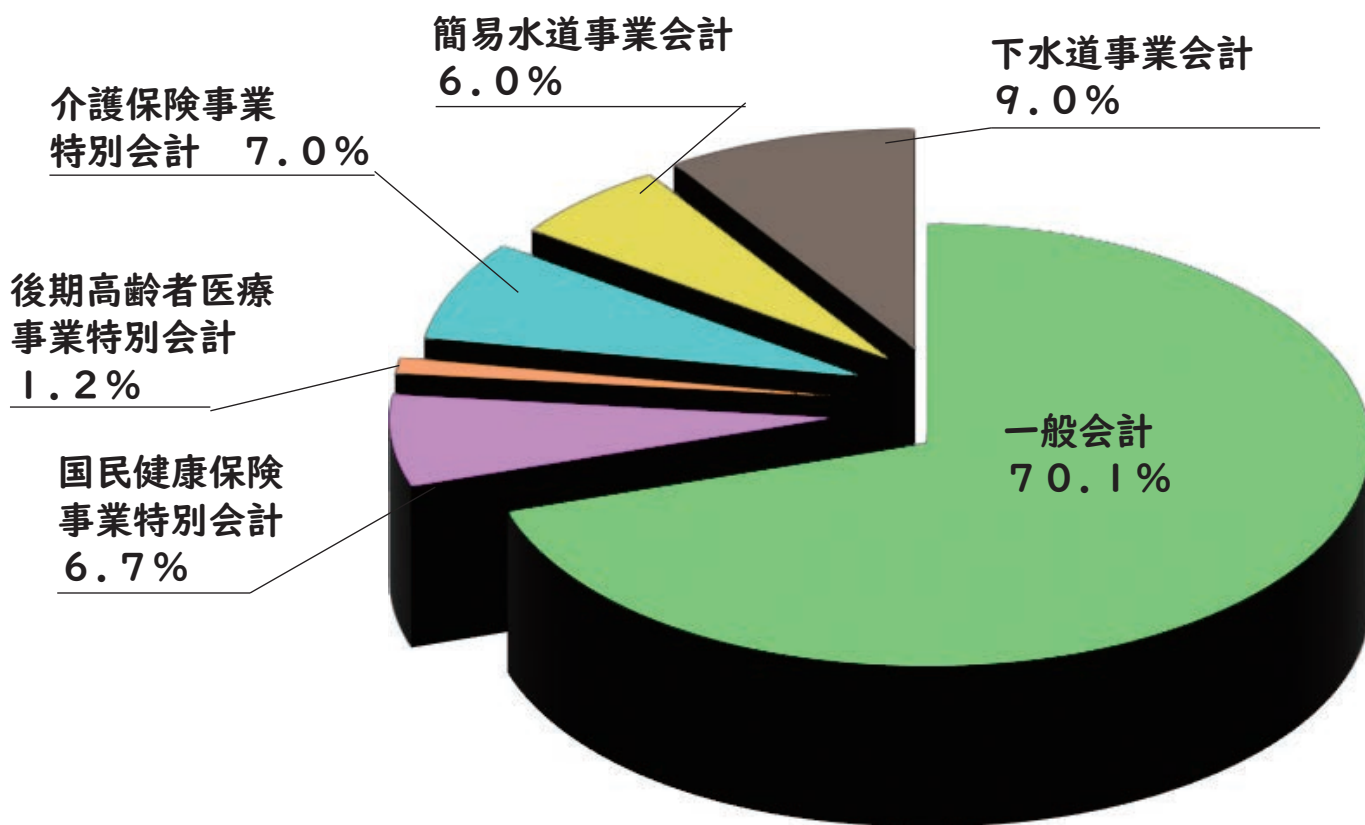
開催年月日	講座名	内容	対象者	会場
2月8日	豊永第3自治会 防災体験講座	防災に関する講話、防災 備品の組み立て・使用体験	豊永第3自治会 「こいこいサロン」	豊永寿の家
2月27日	自然災害にそなえる まちづくり体験学習	防災に関する講話、防災 備品の組み立て・使用体験	津別小学校 4年生	津別小学校

4 資料

各会計別の当初予算総括表

会計区分	令和5年度予算額	令和4年度予算額	増減額	増減率	
一般会計	64億8,100万円	71億1,800万円	△6億3,700万円	△8.9%	
特別会計	国民健康保険事業	6億2,200万円	6億8,260万円	△6,060万円	△8.9%
	後期高齢者医療事業	1億870万円	9,290万円	1,580万円	17.0%
	介護保険事業	6億4,450万円	6億4,950万円	△500万円	△0.8%
簡易水道事業	5億5,450万円	3億6,710万円	1億8,740万円	51.0%	
下水道事業	8億3,010万円	6億1,210万円	2億1,800万円	35.6%	
計	92億4,080万円	95億2,220万円	△2億8,140万円	△3.0%	

※下水道事業会計は、令和5年度より公営企業法適用となり、増減額は、令和4年度下水道事業特別会計との比較となります。



各種団体等に対する補助金・交付金

津別町から支出が予定されている各種団体や個人への補助金交付金は、令和5年度については6億3,123万2千円となっています。補助金・交付金の主な内訳は、次のとおりです。

【まちづくり】

団体名・事業名	令和5年度	令和4年度	前年度比較	
東京つべつ会運営費	24万0千円	24万0千円	0千円	
人づくり・まちづくり活動支援事業	320万0千円	400万0千円	△80千円	
地域おこし協力隊起業支援	100万0千円	0千円	100万0千円	
空家等撤去促進事業	750万0千円	1,000万0千円	△250千円	
空家活用促進事業	150万0千円	150万0千円	0千円	
奨学金返還支援事業	281万0千円	260万0千円	21万0千円	
津別町農業協同組合(旧事務所外壁落下防止対策費)	0千円	485万1千円	△485万1千円	
新型コロナウイルス対策町民入浴無料券	0千円	421万0千円	△421万0千円	
町民入浴優待	281万7千円	36万2千円	245万5千円	
ふるさと定住促進事業	2,090万0千円	2,090万0千円	0千円	
まちづくりセンター運営協議会	120万0千円	120万0千円	0千円	
タクシー利用助成	272万8千円	333万0千円	△60万2千円	
不在者投票事務取扱交付金(町長選挙)	0千円	10万5千円	△10万5千円	
街並づくり推進会議	4万0千円	4万0千円	0千円	
花のまち推進事業	60万0千円	100万0千円	△40万0千円	
自治会連合会	92万7千円	92万7千円	0千円	
各自治会	(運営費)	414万6千円	434万0千円	△19万4千円
	(集会施設維持管理費)	204万3千円	204万3千円	0千円
津別町暴力追放推進協議会	3万3千円	3万3千円	0千円	
津別町防犯協会	58万0千円	58万0千円	0千円	
津別町交通安全協会	15万0千円	15万0千円	0千円	
津別町スポーツ合宿実行委員会	300万0千円	300万0千円	0千円	

【商工労働環境】

団体名・事業名	令和5年度	令和4年度	前年度比較	
つべつふるさとまつり実行委員会	80万0千円	70万0千円	10万0千円	
地域特産品販路拡大支援事業	120万0千円	120万0千円	0千円	
津別町商工会(運営費)	952万6千円	952万6千円	0千円	
起業等振興促進補助	2,883万2千円	2,883万2千円	0千円	
中小企業特融利子補給	202万7千円	242万5千円	△39万8千円	
小規模事業者若者促進事業	144万0千円	244万0千円	△100万0千円	
大型車両等運転免許取得費用助成事業	120万0千円	0千円	120万0千円	
新型コロナウイルス対策融資利子補給	7万3千円	10万0千円	△2万7千円	
新型コロナウイルス対策雇用継続助成金給付事業	149万0千円	30万0千円	119万0千円	
北海道UIJターン新規就農・移住支援事業	100万0千円	100万0千円	0千円	
つべつ夏まつり実行委員会	770万2千円	728万0千円	42万2千円	
津別観光協会	運営費	1,460万5千円	1,368万4千円	92万1千円
	事業費	120万0千円	123万0千円	△3万0千円

【農業】

団体名・事業名	令和5年度	令和4年度	前年度比較
農業経営基盤強化資金利子補給	8万9千円	10万5千円	△1万6千円
農業新規参入者対策事業	38万3千円	21万1千円	17万2千円
産業まつり実行委員会運営費	45万0千円	45万0千円	0千円
農業生産法人経営推進事業	1,395万6千円	413万1千円	982万5千円
有害鳥獣駆除事業	485万0千円	405万0千円	80万0千円
環境保全型農業直接支払交付金事業	114万1千円	114万1千円	0千円
経営所得安定対策直接支払推進事業	50万0千円	50万0千円	0千円
農業次世代人材投資事業	150万0千円	150万0千円	0千円
産地生産基盤パワーアップ事業	0万0千円	0千円	0千円
小規模土地改良事業	150万0千円	150万0千円	0千円
農業経営高度化支援事業	6,540万0千円	6,240万0千円	300万0千円
国営農地再編整備事業推進事業	196万4千円	205万9千円	△9万5千円
多面的機能支払交付金	6,350万0千円	6,350万0千円	0千円
大家畜経営活性化資金利子補給	1万3千円	1万7千円	△4千円
大家畜特別支援資金利子補給	1万0千円	1万6千円	△6千円
畜産経営維持緊急支援資金利子補給	12万8千円	16万7千円	△3万9千円
津別町農業協同組合(堆肥製造施設攪拌機購入費)	0万0千円	1,912万4千円	△1,912万4千円
家畜自衛防疫対策事業	20万0千円	10万0千円	10万0千円
酪農ヘルパー事業	40万0千円	40万0千円	0千円

【林業】

団体名・事業名	令和5年度	令和4年度	前年度比較	
愛林のまち緑資源を守る推進事業	810万5千円	952万4千円	△141万9千円	
津別地区林業協同組合	林協運営費	165万0千円	165万0千円	0千円
	林協利子補給	378万4千円	380万6千円	△2万2千円
北海道猟友会津別支部	28万4千円	48万0千円	△19万6千円	
森林管理認証取得支援事業	15万0千円	15万0千円	0千円	
木質ペレットストーブ導入支援事業	50万0千円	50万0千円	0千円	
太陽光発電システム支援事業	24万0千円	24万0千円	0千円	
地域森林バイオマス利活用推進事業	173万2千円	0千円	173万2千円	
林業従事者就業支援事業	372万0千円	260万0千円	112万0千円	
林業労働安全衛生推進事業	340万8千円	647万4千円	△306万6千円	
愛林のまち私有林整備事業	205万8千円	367万4千円	△161万6千円	
豊かな森づくり推進事業	951万8千円	879万0千円	72万8千円	

【環境】

団体名・事業名	令和5年度	令和4年度	前年度比較
津別町環境衛生推進協議会	20万0千円	20万0千円	0千円
一般家庭飲用水水質検査事業	15万8千円	15万8千円	0千円
水道未給水地区整備事業	360万0千円	360万0千円	0千円

【保健福祉】

団体名・事業名	令和5年度	令和4年度	前年度比較	
移送サービス事業	99万1千円	112万7千円	△13万6千円	
成年後見制度利用支援事業	24万0千円	24万0千円	0千円	
津別町民生委員児童委員協議会	225万6千円	211万4千円	14万2千円	
津別町ひまわりの会	3万0千円	3万0千円	0千円	
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策支援事業	0千円	90万0千円	△90万0千円	
津別町社会福祉協議会	2,433万4千円	2,209万1千円	244万3千円	
津別町老人クラブ連合会・単位老人クラブ	66万2千円	69万1千円	△2万9千円	
津別町人材活用センター	332万2千円	301万2千円	31万0千円	
介護保険施設従事者就業支援等事業	136万0千円	112万0千円	24万0千円	
認定こども園	給食費	371万8千円	306万9千円	64万9千円
	運営費	1,455万2千円	1,453万1千円	2万1千円
丸玉木材(株)津別病院	(感染症対策支援)	0万0千円	1,500万0千円	△1,500万0千円
	(地域医療維持)	2億3,800万0千円	1億3,800万0千円	1億0万0千円
	(救急医療分)	200万0千円	200万0千円	0千円

【教育】

団体名・事業名	令和5年度	令和4年度	前年度比較	
バス通学費補助	671万6千円	693万3千円	△21万7千円	
校納金	40万0千円	40万0千円	0千円	
教科書等	105万8千円	128万6千円	△22万8千円	
制服購入	108万3千円	108万3千円	0千円	
津別高等学校振興対策協議会	350万0千円	350万0千円	0千円	
交通安全用ヘルメット	小学校分	2万5千円	2万5千円	0千円
	中学校分	1万3千円	1万3千円	0千円
遠距離通学費	小学校分	7万0千円	7万7千円	△7千円
	中学校分	6万0千円	6万0千円	0千円
特別支援教育就学奨励補助	小学校分	70万7千円	93万5千円	△22万8千円
	中学校分	89万0千円	111万5千円	△22万5千円
連合PTA	20万0千円	20万0千円	0千円	
ちびっこクラブ	6万0千円	6万0千円	0千円	
津別町文化協会	70万0千円	70万0千円	0千円	
津別町郷土芸能山鳴太鼓保存会	9万0千円	9万0千円	0千円	
津別町町民芸術劇場	0万0千円	30万0千円	△30万0千円	
温水プール利用助成事業	5千円	5千円	0千円	
津別町文化・スポーツ競技大会派遣事業	40万0千円	40万0千円	0千円	
津別町体育協会	180万0千円	205万0千円	△25万0千円	
総合型地域スポーツクラブ事業費	39万0千円	39万0千円	0千円	

【合計】

団体名・事業名	令和5年度	令和4年度	前年度比較
全合計 (まちづくり、商工労働環境、農業、林業、環境、保健福祉、教育)	6億3,123万2千円	5億6,089万2千円	7,034万円

各種施設等の維持管理経費

町内の施設数は70を超え、人件費などの運営費を除く維持管理に要する経費だけで年間約14億1,955万1千円が支出されています。

また、施設の利用の際に納める使用料やごみ収集などのサービスを受ける際に納める手数料を、維持管理経費に充てています。

	施設名	令和5年度	使用料・手数料から充てられる金額
		令和4年度	前年度比較
行政	役場庁舎・公用車車庫・旧議会議事堂	4,883万3千円	
		4,620万6千円	262万7千円
	町有建物	773万6千円	
		2,193万7千円	△1,420万1千円
	バス保管車庫（豊永）	834万8千円	
		133万5千円	701万3千円
	公共交通（まちバス）※人件費含む	4,069万7千円	19万2千円
3,463万9千円		605万8千円	
公用車	461万0千円		
	535万2千円	△74万2千円	
地域・自治会	共和集会施設（生きがいセンター）	91万2千円	
		103万8千円	△12万6千円
	集会施設（28施設）	319万3千円	
		299万0千円	△20万3千円
	老人クラブ施設（10施設）	416万8千円	
		346万5千円	70万3千円
	地域振興センター（商工会館）	96万6千円	1万6千円
		91万1千円	5万5千円
	児童遊園地（9カ所）	240万4千円	
		88万1千円	152万3千円
相生アートコミュニティ施設	96万5千円		
	98万0千円	△15万0千円	
大通地区コミュニティ施設	1,557万1千円		
	0千円	1,557万1千円	
保健福祉	福祉寮 ※人件費・運営費含む	1,903万1千円	235万7千円
		1,949万3千円	△46万2千円
	福祉バス	209万5千円	
環境衛生	共同墓地（12カ所）	105万0千円	42万9千円
		93万6千円	11万4千円
	公衆浴場	1,265万0千円	252万2千円
		1,154万2千円	110万8千円
	一般廃棄物最終処分場	6,779万3千円	245万8千円
		6,227万1千円	552万2千円
	リサイクルセンター	1,792万8千円	
		2,357万2千円	△564万4千円
	し尿処理施設	1,821万3千円	0千円
		1,709万5千円	111万8千円
下水処理場（管渠管理含む）	1億4,475万0千円	5,768万1千円	
	1億179万1千円	4,295万9千円	
個別排水管理	2,652万8千円	1,090万2千円	
	2,585万7千円	67万1千円	
簡易水道施設（5カ所）※（人件費含む）	1億8,021万1千円	1億2,620万8千円	
	1億7,476万9千円	544万2千円	

	施設名	令和5年度	使用料・手数料から充てられる金額
		令和4年度	前年度比較
道 路 ・ 河 川	道路維持管理(道路照明灯、防犯灯を含む)	2億7,837万3千円	115万4千円
		2億8,239万8千円	△402万5千円
	道路除排雪	400万0千円	
		399万5千円	5千円
	建設機械管理	2,129万5千円	
		1,748万8千円	380万7千円
	道路維持作業車	1,803万4千円	
		238万0千円	1,565万4千円
	除雪センター(豊永・緑町)	94万4千円	
		72万0千円	22万4千円
	林道	547万8千円	
		271万8千円	276万0千円
交通安全施設	16万8千円		
	12万6千円	4万2千円	
河川維持管理	326万2千円	2万3千円	
	313万4千円	12万8千円	
住 宅	町営住宅、特賃住宅	4,174万5千円	1,730万2千円
		2,296万3千円	1,878万2千円
	町有住宅	577万7千円	
農 業	町営牧場(達美、相生)	1,525万3千円	△947万6千円
		588万2千円	324万2千円
	用水路	507万2千円	81万0千円
		6万0千円	
		5万2千円	8千円
観 光 ・ 公 園	森の健康館(ランプの宿森つべつ)	3,697万1千円	
		4,203万1千円	△506万0千円
	津別峠展望施設	447万0千円	24万1千円
		509万2千円	△62万2千円
	道の駅「あいおい」・鉄道公園	1,346万8千円	
		1,006万0千円	340万8千円
	木材工芸館・体験工房	1,482万0千円	36万0千円
		1,529万3千円	△47万3千円
	レストハウス	21万7千円	
		21万7千円	0千円
	河岸公園	583万0千円	
		524万7千円	58万3千円
	自然運動公園	598万1千円	
		570万5千円	27万6千円
	上里森林公園	102万6千円	
		102万3千円	3千円
	農村公園	46万3千円	
		49万9千円	△3万6千円
	町民の森自然公園	531万8千円	
		501万8千円	30万0千円
チミケップキャンプ場	123万1千円		
	124万7千円	△1万6千円	
21世紀の森・キャンプ場	796万0千円		
	785万9千円	10万1千円	
多目的活動センター(さんさん館)	983万1千円	13万1千円	
	858万1千円	125万0千円	
体験交流施設	105万2千円		
	81万3千円	23万9千円	
ネイチャーセンター	125万7千円		
	117万9千円	7万8千円	

	施設名	令和5年度	使用料・手数料から充てられる金額
		令和4年度	前年度比較
社会教育	中央公民館（図書室含※R4まで）	3,916万1千円	25万3千円
		4,551万6千円	△635万5千円
	町民会館	1,326万1千円	77万6千円
		1,190万3千円	135万8千円
	図書館	3,564万8千円	
		0千円	3,564万8千円
	児童館	326万3千円	
		314万3千円	12万0千円
	食品加工センター	123万0千円	4万6千円
		115万2千円	7万8千円
	多目的運動公園（パークゴルフ場）	4,344万6千円	176万5千円
		5,385万5千円	△1,040万9千円
	温水プール	3,234万5千円	29万4千円
		3,742万3千円	△507万8千円
	町民テニスコート	99万4千円	1万3千円
		97万9千円	1万5千円
	運動広場（野球場）	277万7千円	13万5千円
		5,109万3千円	△4,831万6千円
	達美野球場	20万7千円	3千円
		19万9千円	8千円
	町民ゲートボール場	0千円	
		450万3千円	△450万3千円
	屋内ゲートボール場	175万2千円	8万7千円
		170万3千円	4万9千円
	本岐地区多目的公園	79万0千円	
		79万2千円	△2千円
	修武館	108万5千円	2万1千円
		113万2千円	△4万7千円
	スケートリンク	201万2千円	
		188万2千円	13万0千円
ファミリースキー場	232万3千円	6千円	
	221万3千円	11万0千円	
グレステンスキー場	164万8千円		
	215万5千円	△50万7千円	
農業者トレーニングセンター	1,456万3千円	82万2千円	
	2,293万2千円	△836万9千円	
スポーツ交流館	66万0千円	3万0千円	
	76万4千円	△10万4千円	
本岐体育館	208万8千円	6千円	
	556万0千円	△347万2千円	
学校教育	小学校（1校）	3,105万9千円	2万4千円
		2,575万2千円	530万7千円
	中学校（1校）	2,806万3千円	2万3千円
		2,351万0千円	455万3千円
	スクールバス（小学校、中学校）	3,661万0千円	
3,651万5千円		9万5千円	
給食センター	113万8千円		
	95万1千円	18万7千円	

合 計	令和5年度	町民1人あたりの管理経費
	令和4年度	前年度比較
※町民1人あたりの管理経費は、令和5年1月末の住民基本台帳人口4,207人で割ったものです。	14億1,968万8千円	33万7千円
	13億6,121万5千円	5,847万3千円

町の貯金と借金

基金の残高

「基金」とは、特定の目的のために資金を積み立て、または運用するために設けられる資金、財産のことで、家計における預貯金のことをいいます。

基金名		令和5年度末残高見込	令和4年度末残高見込	前年度対比増減額
積立基金	財政調整基金	3億1,610万6千円	7億6,449万5千円	△4億4,838万9千円
	減債基金	3億3,022万1千円	5億6,923万0千円	△2億3,900万9千円
	公共施設等整備基金	8億1,707万8千円	9億8,818万5千円	△1億7,110万7千円
	地域振興基金	10億489万4千円	12億7,415万6千円	△2億6,926万2千円
	社会保障事業基金	4,517万5千円	5,735万8千円	△1,218万3千円
	福祉基金	2千円	1千円	1千円
	ふるさとつべつ応援基金	1億1,994万2千円	1億1,423万4千円	570万8千円
	丸五木材森づくり基金	2,675万8千円	2,486万1千円	189万7千円
	津別21世紀の森基金	5,723万5千円	5,723万3千円	2千円
	公共交通確保対策事業基金	2億6,481万2千円	2億7,779万6千円	△1,298万4千円
	国営農地再編整備事業負担金支払基金	4億7万4千円	3億5,006万7千円	5,000万7千円
	森林環境譲与税基金	1,441万7千円	834万0千円	607万7千円
	病院施設整備基金	4億1万0千円	3億0万5千円	1億0万5千円
小計	37億9,672万4千円	47億8,596万1千円	△9億8,923万7千円	
運用基金	奨学基金	3,944万4千円	3,944万4千円	0千円
	用品等調達基金	120万0千円	120万0千円	0千円
	林産工業振興基金	4,000万0千円	4,000万0千円	0千円
	中小企業振興基金	2,000万0千円	2,000万0千円	0千円
	土地開発基金	4,806万8千円	4,813万1千円	△6万3千円
	農業振興基金	6,000万0千円	6,000万0千円	0千円
	ふるさと水と土保全基金	1,000万0千円	1,000万0千円	0千円
小計	2億1,871万2千円	2億1,877万5千円	△6万3千円	
国民健康保険基金	8,339万9千円	8,442万6千円	△102万7千円	
介護給付費準備基金	1,081万7千円	2,315万7千円	△1,234万0千円	
合計	41億965万2千円	51億1,231万9千円	△10億266万7千円	

地方債の残高

町が施設の建設や道路の整備などを行う際に、銀行などからお金を借りる制度を「地方債制度」といいます。また、この制度を活用してお金を借りることを「起債」といい、予算上の地方債の元利償還金と一時借入金利子の合算額を「公債費」といいます。

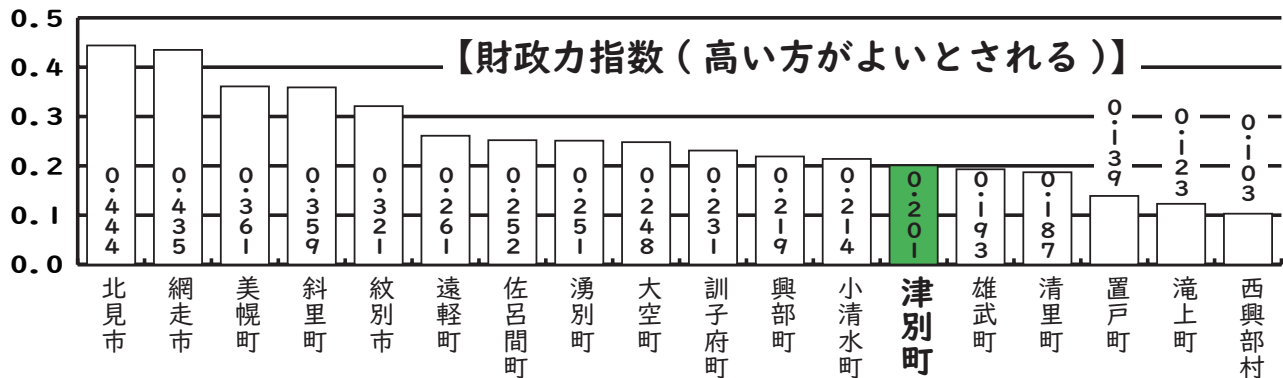
会計名	令和4年度末残高見込	令和5年度償還見込額	
		元金	利子
一般会計	102億2,986万5千円	8億3,728万8千円	1,950万6千円
下水道事業会計	11億9,838万6千円	2,356万1千円	786万4千円
簡易水道事業会計	11億1,909万5千円	9,603万0千円	1,713万5千円
合計	125億4,734万6千円	9億5,687万9千円	4,104万8千円

【用語解説】

基金名	解 説
財 政 調 整 基 金	財源に余裕がある場合は積み立てておき、大幅な収入減少や支出の増加などで財源が不足したときのために使われます。
減 債 基 金	町債（地方債）の償還のために使われます。
公 共 施 設 等 整 備 基 金	公共施設・設備の整備のために使われます。
地 域 振 興 基 金	地域振興のために自ら考え自ら実践する事業のために使われます。
ふるさとつべつ応援基金	ふるさと納税を原資としてふるさとつべつの個性あるまちづくりのために使われます。
公共交通確保対策事業基金	公共交通（まちバス）の管理、運営を行うために使われます。
社 会 保 障 事 業 基 金	社会福祉（生活保護、児童福祉、母子福祉、高齢者福祉、障害者福祉等）、社会保険（国民健康保険、介護保険、年金等）、保健衛生（医療・感染症その他の疾病、健康増進対策等）、その他少子化に対処するための施策を行うために使われます。
福 祉 基 金	保健・福祉の施策を行うために使われます。
丸玉木材森づくり基金	愛林のまちつべつの緑資源を守るために使われます。
津別21世紀の森基金	津別21世紀の森の運営及び管理に使われます。
国営農地再編整備事業負担金支払基金	国営農地再編整備事業を行うための負担金として使われます。
土 地 開 発 基 金	公用・公共用の土地、公共の利益のために必要な土地を取得するために使われます。
森 林 環 境 譲 与 税 基 金	森林の整備およびその促進のために使われます。
病 院 施 設 整 備 基 金	町内の病院施設の整備のために使われます。
奨 学 基 金	奨学金事業を行うための融資資金として使われます。
用 品 等 調 達 基 金	用品を取得、管理をするために使われます。
林 産 工 業 振 興 基 金	林産工業の振興を図るための融資資金として使われます。
中 小 企 業 振 興 基 金	中小企業の振興を図るための融資資金として使われます。
農 業 振 興 基 金	農業の振興を図るための融資資金として使われます。
ふるさと水と土保全基金	土地改良施設の機能を適正に発揮させるために、集落共同活動の強化を図るための調査、研究並びに研修に関する支援事業を行うために使われます。
国 民 健 康 保 険 基 金	国民健康保険事業の運営を円滑にするために使われます。
介 護 給 付 費 準 備 基 金	介護保険事業の介護給付及び財政運営を円滑にするために使われます。

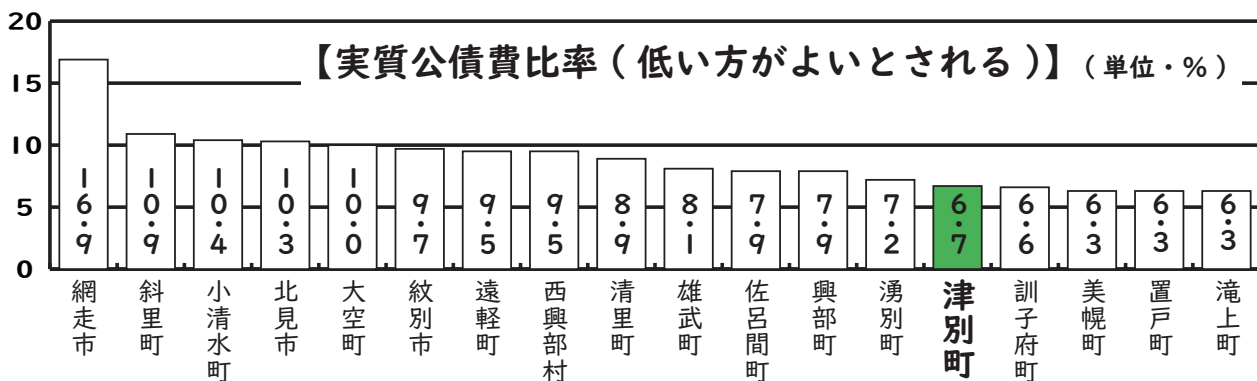
オホーツク管内市町村との比較

オホーツク総合振興局管内の18市町村の主要指標を、グラフで比較しました。
この指標は、「令和3年度決算統計」によるものです。



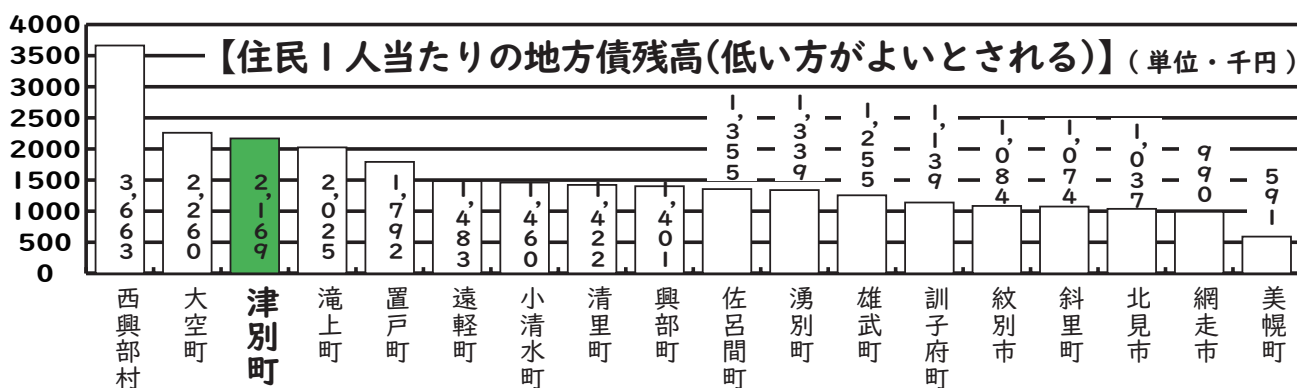
財政力指数とは、地方交付税を算定する上で人口10万人の架空の市を想定し、その市が必要とする収入（基準財政収入額）と支出（基準財政需要額）が同額、つまり「1」であれば均衡が取れている状態であり、「1」より少ないほど自主財源が乏しく、その分交付税に頼ることになります。

財政力指数は、3年間の平均値で表されますが、津別町は管内では18市町村中13番目（前年度18市町村中13番目）となっています。



地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

管内平均では8.9%（前年度9.1%）となっております。津別町は管内では18市町村中14番目（前年度18市町村中17番目）です。実質公債費比率が18.0%以上となった市町村は、引き続き地方債の発行に都道府県の許可が必要とされています。

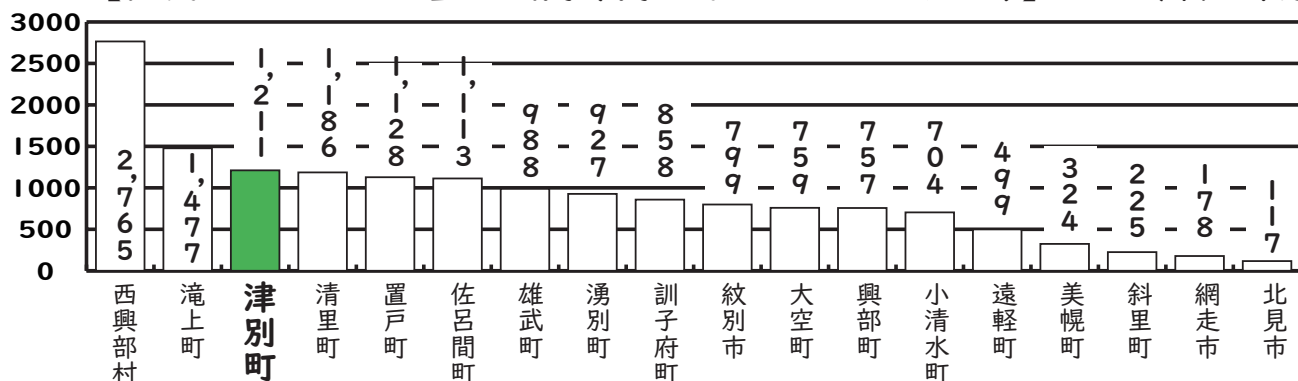


人口1人当たりの地方債の残高については、津別町は管内では18市町村中3番目（前年度は18市町村中3番目）です。

※低い方がよいとされていますが、交付税で措置されるものが含まれているため、単純に比較はできないものです。

【住民1人当たりの基金残高（高い方がよいとされる）】

（単位・千円）

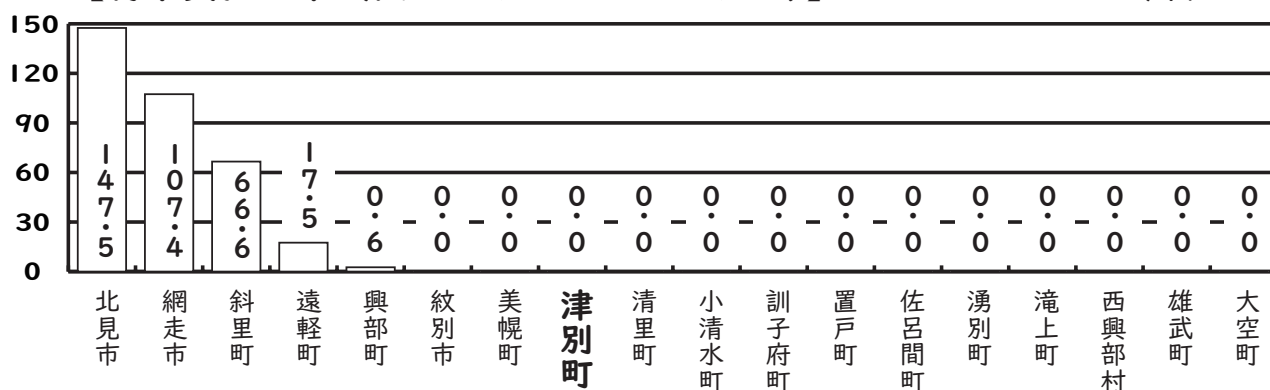


基金（財政調整基金、減債基金、その他特定目的基金※）の人口1人当たりの残高です

※その他特定目的基金…本町の場合は、公共施設等整備基金、地域振興基金、公共交通対策基金等
津別町は管内で18市町村中3番目（前年度は18市町村中4番目）です。

【将来負担比率（低いほうがよいとされる）】

（単位・%）



将来負担比率は、収入に対する将来町が負担する借金などの割合です。津別町は、平成20年度以降は将来負担比率は生じていません。

【実質赤字比率】

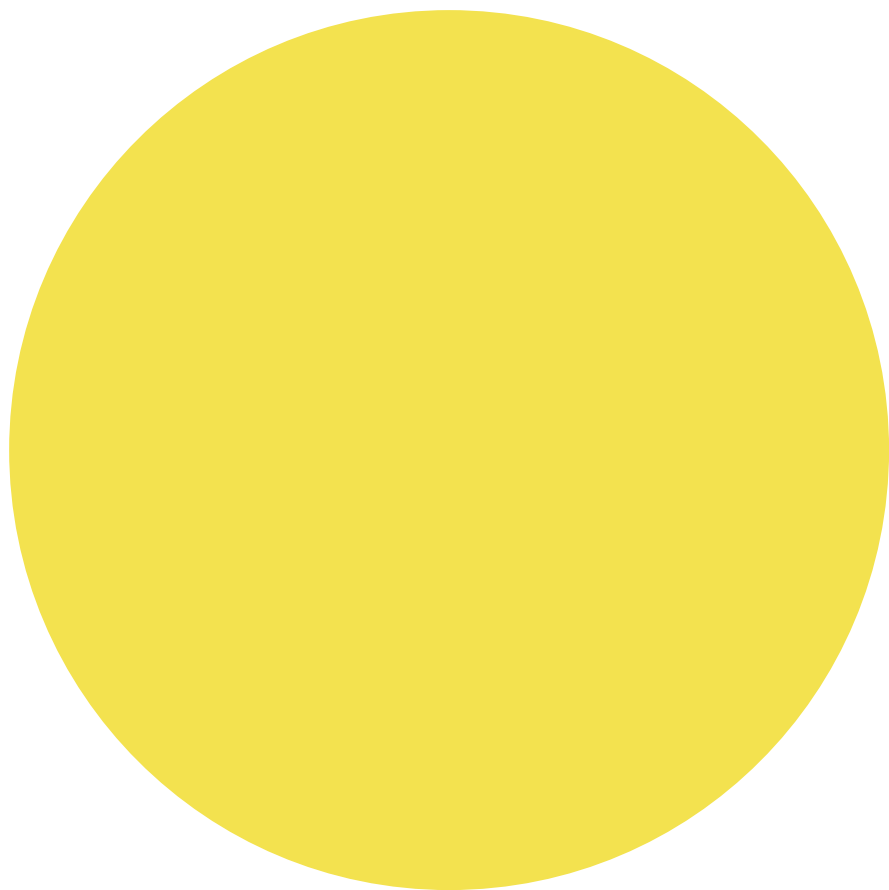
地方公共団体の最も重要な会計である一般会計等に生じている赤字の大きさを、地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

オホーツク管内の18市町村は、実質赤字比率は生じていません。

【連結実質赤字比率】

上記の実質赤字比率の基準である一般会計等に加え、公立病院や水道などの公営企業会計を含めた、地方公共団体の全会計に生じている赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したものです。

オホーツク管内の18市町村は、実質赤字比率と同様、連結実質赤字比率は生じていません。



令和5年度津別町のしごと

発行 津別町役場

〒092-0292

北海道網走郡津別町字幸町41番地

TEL: 0152-76-2151(代表)

FAX: 0152-76-2976

編集 津別町役場住民企画課企画係

